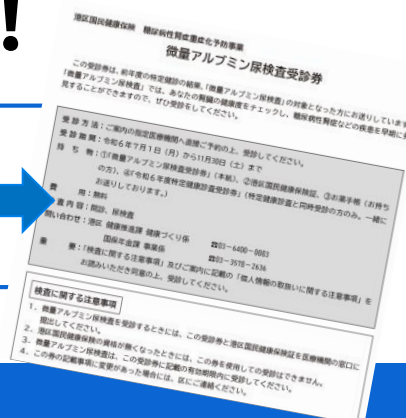


無料で

あなたの腎臓を守るため

微量アルブミン尿検査 が受診できます！

昨年度の健康診査で血糖値が高めと判定された方に『微量アルブミン尿検査』受診券を同封しています。今年度の特定健康診査と一緒に受診してください。



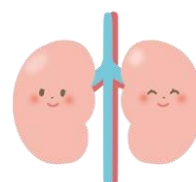
『微量アルブミン尿検査』はどんな検査？

尿中に含まれている微量なたんぱく質(アルブミン)の量を測定し、腎臓の障害を早期に発見する検査です。
通常の尿検査では検査できない項目です。



血糖値が高いとなぜ腎臓に影響があるの？

1. 腎臓は、血液をろ過し、老廃物を尿として体外に出し、たんぱく質など必要な成分を体内に戻しています。
2. 腎臓には、細い血管が集まっており、血糖値が高い状態が続くと血液中で増えたブドウ糖が細い血管を傷つけ、たんぱく質が尿中に排出されます。
3. 微量アルブミン尿検査は、初期の段階から腎臓の異常を発見することができるため、糖尿病性腎症などの早期発見が可能です。
4. 腎機能が悪化すると、人工透析などの治療が必要となり、生活や生命に大きな影響が出ます。



裏面に微量アルブミン尿検査の結果の見方があります。検査を受け、チェックをしてみてください。

『微量アルブミン尿検査』の結果の見方

尿中アルブミン (mg/gCr)	30未満	30～299	300以上
	正常アルブミン尿	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
自覚症状	なし	なし	● 手足のむくみ ● 疲れやすさなど
		軽～中等度腎障害	高度腎障害
		必ず専門医療機関の受診が必要です!	
検査結果と 対応	毎年健康診査を受け、血糖値を下げるなど、健康な状態を維持するための生活習慣を心がけましょう。基礎疾患がある方は治療を継続しましょう。	必要に応じた治療と 保健指導を受けましょう! 今なら腎障害の悪化を 止めることができます。	早急に 治療が必要です! 適切な治療を受ければ 腎障害の悪化のスピード を緩めることができます。



港区に7か所ある腎臓専門医療機関で精密検査を受け、糖尿病性腎症のリスクがあると診断された方に、港区は『糖尿病性腎症重症化予防事業』を行っています。

微量アルブミン尿検査をきっかけに、腎機能について興味を持ち、保健指導に参加して生活改善に取り組んでいる方もいます。



糖尿病性腎症は、心筋梗塞や脳卒中のリスクにつながります。

自覚症状がないからと言って、高血糖状態を絶対に放置しないでください。

お問合せ、ご相談等ありましたら下記にご連絡ください

問合せ

みなと保健所 健康推進課健康づくり係



03-6400-0083